

日本原子力学会 第 146 回倫理委員会
議事録

1. 日 時：2024 年 9 月 30 日（月）9:15～11:55
2. 場 所：原子力学会事務局会議室+Zoom（ハイブリッド） ※：Zoom 参加
3. 出席者：大場委員長※，手柴副委員長，神谷幹事，伊藤(公)委員，大久保委員，沖田委員※，
後藤委員，芝原委員※，出町委員※，中野委員※，中村委員※，福家委員※，藤田委員
(委員 15 名中 13 名出席)
小林特別委員※，佐藤特別委員※

4. 資 料：

- 倫 146-1-1 前回議事録（案）
- 倫 146-1-2 倫理委員会 委員の承認について
- 倫 146-2-1 倫理委員会活動計画
- 倫 146-2-2 倫理委員会役割分担表
- 倫 146-3-1-1 2024 年秋の大会企画セッション結果概要
- 倫 146-3-1-2 2024 年秋の大会企画セッション結果詳細議事録
- 倫 146-3-2-1 2024 年秋の大会企画セッションプレゼン資料（神谷）
- 倫 146-3-2-2 2024 年秋の大会企画セッションプレゼン資料（大橋講師）
- 倫 146-3-3 2024 年秋の大会企画セッションアンケート結果
- 倫 146-4 YGN との倫理研究会について
- 倫 146-5-1 2025 年春の大会企画セッションの企画・準備（案）
- 倫 146-5-2 安全工学シンポジウム 2024 関連情報
- 倫 146-6-1 次回倫理規程改定に向けた検討について（案）
- 倫 146-6-2 倫理規程改定検討比較表
- 倫 146-7-1 技術倫理協議会の活動状況について
- 倫 146-7-2 ダイバーシティ&インクルージョン推進のための目標シート（2024 年度）

5. 議事概要：

(1) 前回議事録について

神谷幹事から資料 146-1-1 に基づき説明があり、異議なく了承された。

(2) 委員候補の承認について

大場委員長から、資料 146-1-2 に基づき、さる 8 月 8 日の理事会で芝原氏の委員就任が了承された旨の報告があった。

(3) 活動計画および役割分担について

手柴副委員長から資料 146-2-1、146-2-2 に基づき説明があり、2025 年秋の大会以降の企画セッション等については、今回提案のあった役割分担に基づき調整し、進めていくこととした。ま

た、中野委員から、資料 146-7 に基づき、技術倫理協議会の活動状況について報告があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・藤田委員の欄にも委員就任前のハッチングを記載する。菅原委員は、海外赴任により担当できない期間を同様にハッチングする。
- ・外部への講師依頼については、委員会全体の人脈で対応していく。
- ・研究会は、企画セッションのフォローアップという位置づけでなくてよい。
- ・理事委員と特別委員には、座長や閉会挨拶の任を担っていただくように調整していく。
- ・従前、理事委員と特別委員の方に委員会の時間を使ってミニ講演会を実施していたが、理事委員等に限らず、各委員から、倫理や各自の関心事等に関する話題提供をし、委員会の活性化に資していくこととする。毎回 15 分程度とし、初回は大場委員長に願う。また、本件について活動計画に反映することとした。

(4) 2024 年秋の大会企画セッションの結果について

福家委員から資料 146-3-1-1 および 146-3-3 に基づき、2024 年秋の大会企画セッションの結果概要およびアンケート結果について説明があった。議事概要を HP に掲載するために、2 週間程度で講師と指定討論者のレビューを行うこととした。

(5) YGN との倫理研究会について

大場委員長から資料 146-4 に基づき、YGN との倫理研究会の内容について説明があった。主な議論等は以下のとおり。

- ・YGN の意向を踏まえて、核セキュリティ事案をテーマとし、倫理規程に照らしたグループ討議、グループ発表を中心に行う。開催日は 10 月 15 日で決定。
- ・倫理委員会からの参加者は、改めて別途把握することとした。

(6) 2025 年春の年会企画セッションについて

中村委員から資料 146-5-1 および 146-5-2 に基づき説明があり、引き続き検討を進めていくこととした。主な議論等は以下のとおり。

- ・テーマは「安全について（改めて安全の定義と向き合い方を考える）」（案）で、Safety-I や Safety-II の考え方を振り返る等の内容とする。
- ・学識者 2 名によるプレゼンは重すぎるので、1 名とするのが適切ではないか。
- ・本企画セッション主担当の中村委員が座長を担うのが相応しいのではないか。閉会挨拶は理事委員か特別委員に願うのがよい。
- ・企画セッションの目的は、このテーマを倫理委員会の企画セッションで実施する意義が分かるようにする必要がある。また、1 F 事故のことを議論することが主目的でないのであれば、その点も修文する必要がある。

(7) 次回倫理規程改定に向けた検討について

神谷幹事から資料 146-6-1 および 146-6-2 に基づき、前回以降のメールベースでの議論を反映した改定案の修正箇所について説明があった。資料にある「スケジュール」に沿えば、改定案に

ついて次回委員会で成案を得ることになる。本日は時間の都合で議論できないが、引き続きメールベースでの検討をしていくこととした。

(8) その他

- ・ダイバーシティ推進委員会からの目標シート提出依頼に関して、神谷幹事から資料 146-7-2 に基づき回答案の説明があり、特に異議はなく、期限までに提出することとした。

6. 次 回：11 月中旬頃に開催することとし、別途調整することとした。

以上